

オカダアイオン

適用範囲		型 式	TS-WB350	TS-WB500V	TS-WB620V FR	TS-WB620V ARTS
		質 量 kg	250	480	780	920
		取付可能機体質量 (単位 t)	2.5～4.0	4.0～5.5	6～9	6～9
		検 査 基 準 値				
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値		
旋回装置	旋回ベアリング	取付 ボルトサイズ	mm		16	16
		締付 トルク	N・m		275	275
			kg・m		28	28
		取付 ボルトサイズ	mm			
		締付 トルク	N・m			
			kg・m			
油圧装置	シリンダー (図 1-9、1-10 参照)	開閉シリンダー				
		伸縮量	mm	20	20	20
		測定時間	分	3	3	3
圧砕・切断部	カッター (図 1-11 参照)	カッターの隙間				
		基準値	mm	0.5	0.5	0.5
		許容限度	mm	1.5	1.5	1.5
	圧砕ポイント (図 1-12 参照)	圧砕ポイントC				
		基準値	mm	0	0	0
		許容限度	mm	30	30	30
		圧砕ポイントD				
		基準寸法	mm		120	120
		許容限度	mm		150	150

コンクリート大割圧砕具

TS-WB620V HR	TS-WB950V FR	TS-WB950V ARTS/HR	TS-WB1100V FR	TS-WB1100V ARTS/HR	TS-WB1600V		
920	1.610	1.690	2.480	2.540	4.960		
6～9	12～18	12～18	18～25	18～25	40～48		
検 査 基 準 値							
16	16	16	16	16	22		
275	275	275	275	275	700		
28	28	28	28	28	71		
20	20	20	30	30	30		
3	3	3	3	3	3		
0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
0	0	0	0	0	0		
30	40	40	50	50	60		
120	110	110	120	120	210		
150	150	150	170	170	260		

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、aのストップバルブを閉じる。
- ③L部の寸法測定を行い、3分間経過後に再度L部の寸法測定し、その差を伸縮量とする。
- ④ダブルシリンダー型は左右2本のシリンダーを測定すること。
- ⑤シングルシリンダーで2ロッド型シリンダーの測定は反対側のロッドも測定すること。

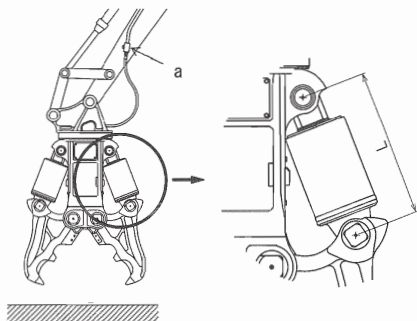


図 1-9 開閉シリンダーの伸縮量測定（ダブルシリンダー型）

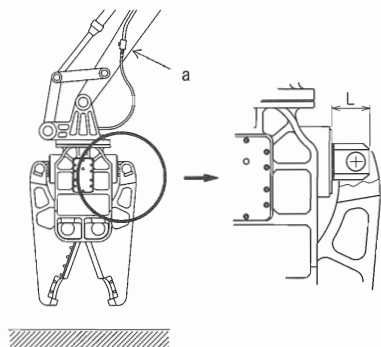


図 1-10 開閉シリンダーの伸縮量測定（シングルシリンダー型）

2. カッターの隙間測定

- ①本体を水平に置きアーム全開状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②すきまゲージによりB寸法を測定する。

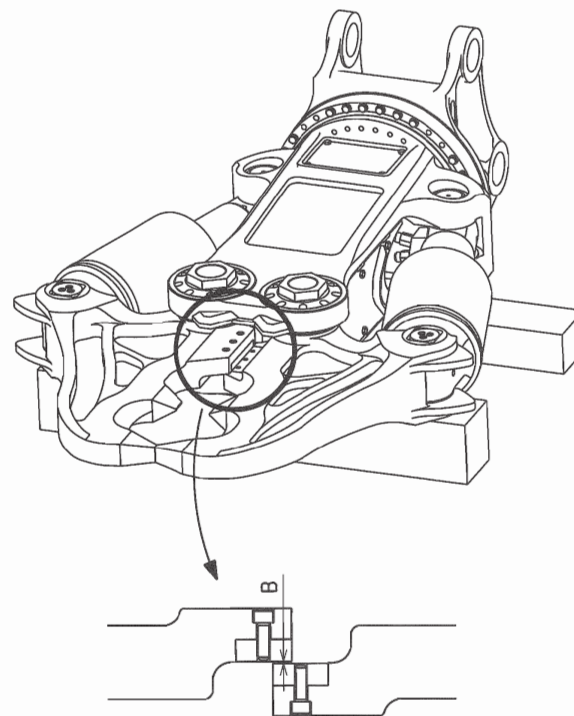


図 1-11 カッターの隙間測定

3. 圧砕ポイントの測定

- ① 本体を水平に置きアーム全閉状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ② C先端ポイント・D中間ポイントの隙間を測定する。

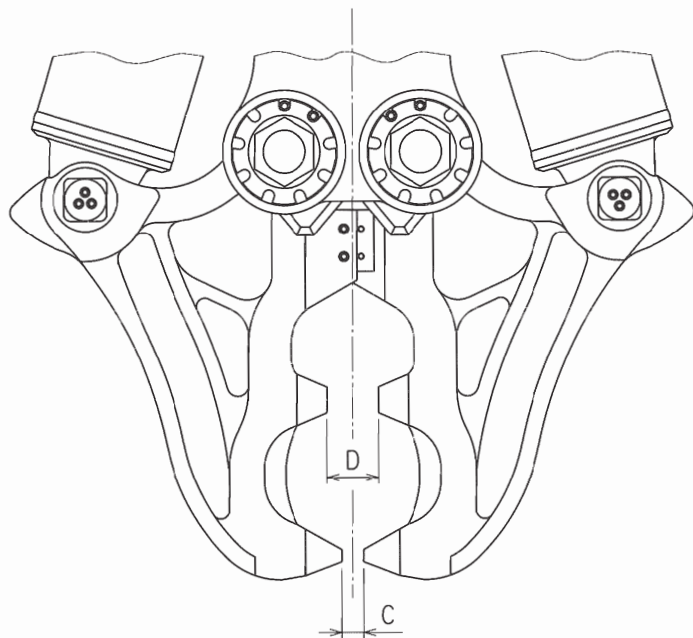


図 1-12 圧砕ポイントの測定

4. 圧砕ポイントの測定（TS-WK800V）

- ① 本体を水平に置きアーム全閉状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ② E・F・G・H、の各圧砕ポイントの高さを測定する。

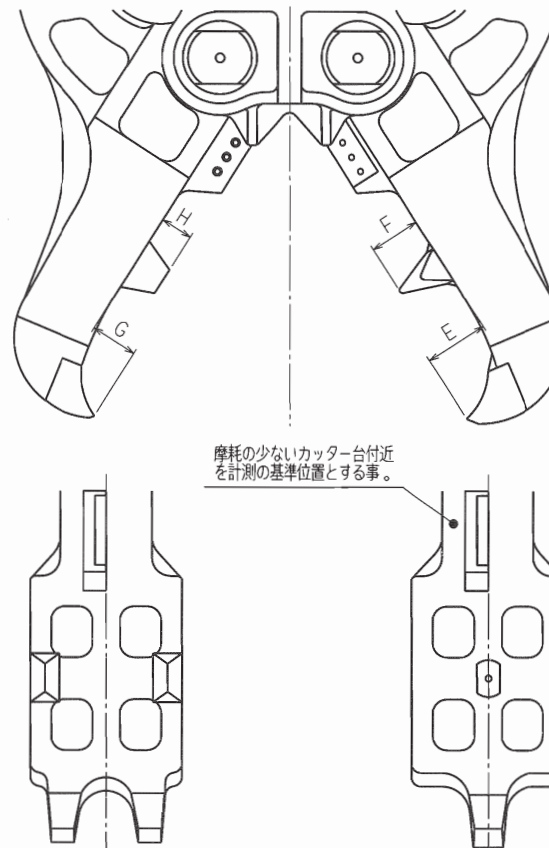


図 1-13 圧砕ポイントの測定